

AM/FM/TV ステレオチューナー

KT-7020

取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本機は日本国内専用のモデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

KENWOOD

はじめに

ケンウッド商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、本説明書をよくお読みになり、末永くご愛用くださるようお願いいたします。また、お読みになったあとも、大切に保存してください。

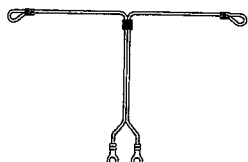
目次 ご注意：△のついた項目は感電や火災からあなたを守るためにご使用前に必ずお読みください。

はじめに.....	2	放送局の周波数をプリセットするには.....	8
△ご使用前に.....	3	プリセットした放送局を受信するには.....	8
△セットの取扱上のご注意.....	3	プログラム受信をするには.....	9
接続のしかた.....	4	便利な機能.....	10
各部の名称.....	6	故障と思われる症状ですが.....	11
操作のしかた.....	7	アフターサービスについて.....	12
オート選局できくには.....	7	定格.....	12
マニュアル選局できくには.....	7		

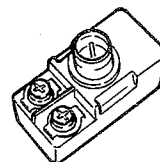
付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

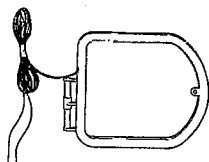
FM 室内アンテナ..... (1本)



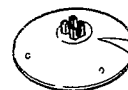
アンテナアダプター (75Ω/300Ω)..... (2個)



AM ループアンテナ..... (1本)



AM ループアンテナスタンド..... (1個)



オーディオコード..... (1本)



ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。

特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、十分気を配りましょう。

窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

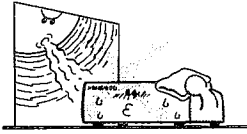
ご使用前に

△この頁は安全確保のために必ずお読みください。

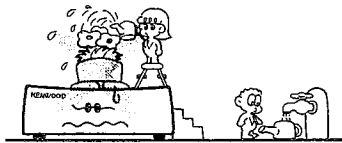
セットの取扱上のご注意

■設置上のご注意

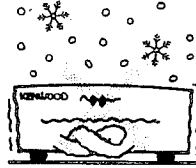
直射日光の当る所、暖房器具など発熱物の近くはさけてください。



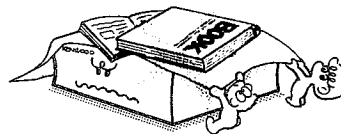
花瓶、化粧品など水の入ったものは、セットの上に置かないでください。また湿気の多い所はさけてください。



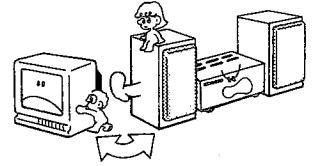
極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。



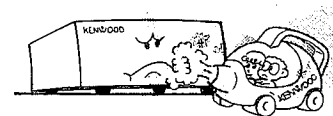
放熱をよくするため、本など、ものをセットの上に置かないでください。また、壁から10cmくらい離して置いてください。



雑音が入る場合は、テレビからできるだけ離してご使用ください。

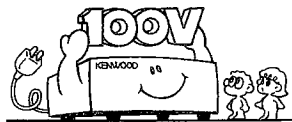


不安定な棚などはさげ、ホコリ、振動の少ない水平な場所に設置してください。



■使用上のご注意

本システムは、交流100V専用です。200Vでは絶対に使用しないでください。



電源コードを強く引っ張ったり、無理に折りまげたり、継ぎ足したりすることは、通電しなくなったり、ショートのおそれがありますのでやめましょう。抜くときは、プラグを持ってください。

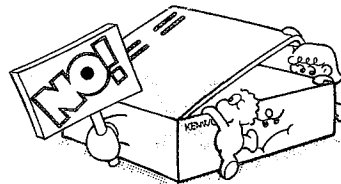


コードをもたない

電源プラグの抜き差しは、ぬれた手で行わないでください。感電するおそれがあります。

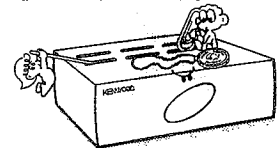


ケースなどはずし、内部にふれることはさけてください。内部に手をふれると感電、故障の原因となることがあります。



内部には手をふれない

システム背面の電源コンセントにヘアピン、縫い針などの金属物が入ると故障や感電の原因になります。とくにお子様へのご注意をお願いします。



■セットのお手入れ

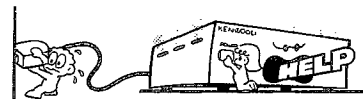
前面パネル、ケースなどが汚れたときは、やわらかい布でからぶきます。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。



■異常にお気づきのさいは

万一、煙がでている、また変な臭いがするなどの異常がおきたときは、電源スイッチをすばやくOFFにして電源コードを抜いてください。そのうえで速かに購入店または最寄りのケンウッドサービスセンター、営業所へご連絡ください。

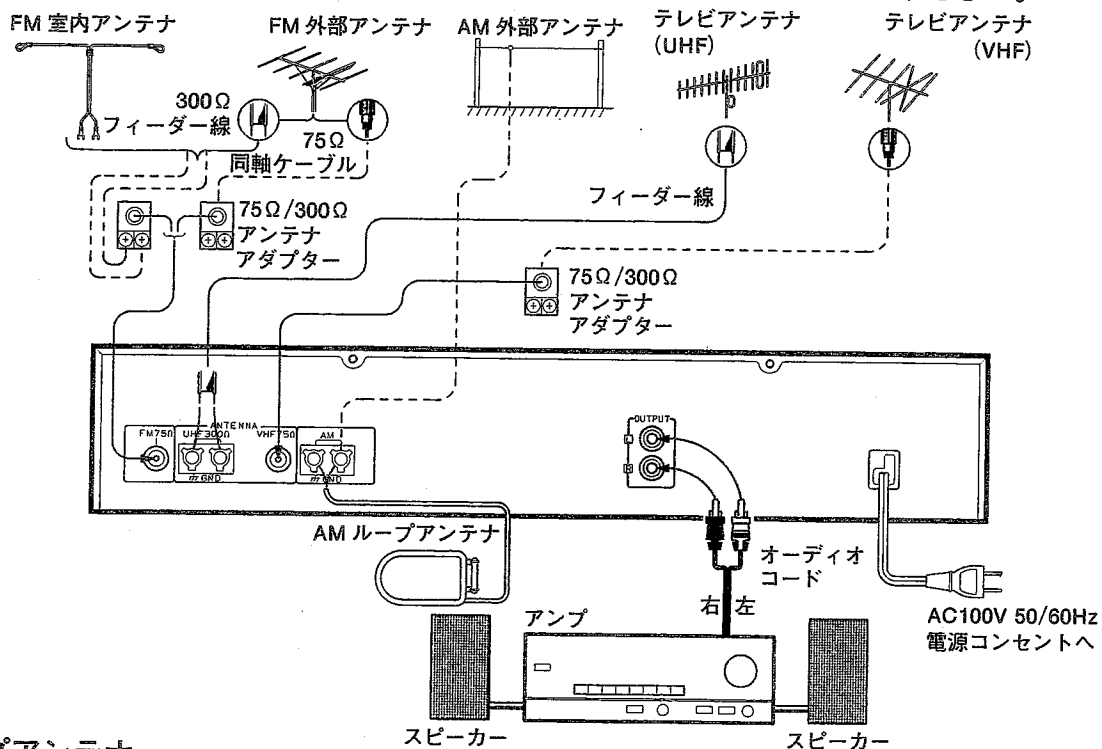
POWER OFF



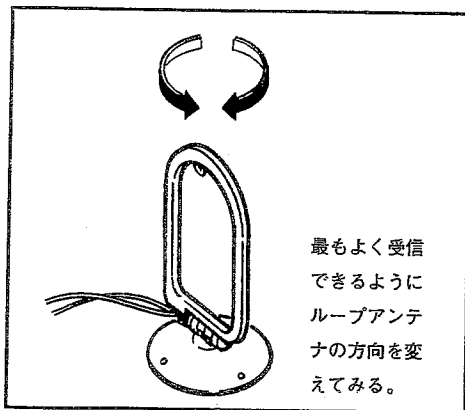
接続のしかた

下図のように接続してください。

接続が完了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。



AM ループアンテナ



ご注意：

1. 全ての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 全ての接続が終了したあとに、接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行いますと、誤動作または破損の原因となります。

■AM ループアンテナの接続

付属の AM ループ室内アンテナを付属のループアンテナスタンドに差し込みます。

棚などの安定した場所に置くかラックや壁に木ねじで固定してください。

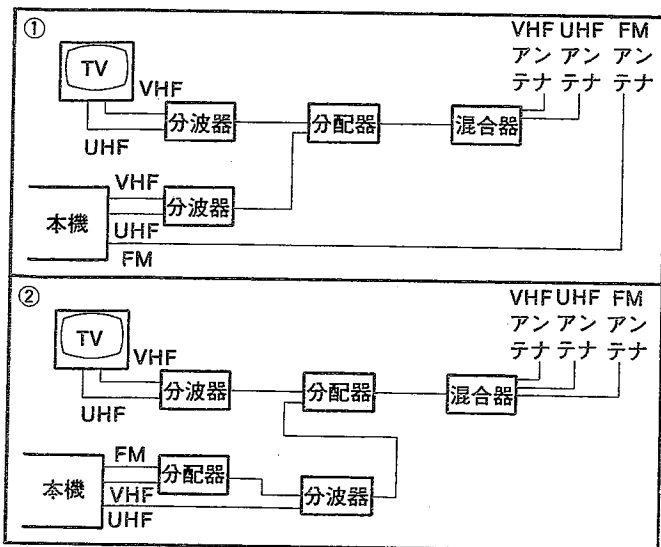
ご注意：

AM ループ室内アンテナは、TV、スピーカーコード、電源コード、システムコントロールコードからできるだけ離してください。

■AM 外部アンテナの接続

鉄筋住宅の場合などで AM ループ室内アンテナを接続しても受信状態が悪いときは、AM アンテナ端子にビニール被覆線を 6~15m 屋外にはってください。このとき必ずループ室内アンテナも接続したままにしておきます。

TV/FM アンテナの接続



■FM 外部アンテナの接続

チューナで一番大切なのは、電波を確実に十分キャッチすることです。

そのためには、FM 専用外部アンテナを必ずご使用ください。

電波が十分強くても、ビルの谷間や山に囲まれた地域では反射波で音が歪んだり、ステレオのセパレーションが悪くなります。

このようなときは、アンテナの指向性のするどい2素子位相差給電アンテナをご使用ください。

また、放送局から遠く電波が弱い地域では、電界強度に応じて3素子、5素子、7素子のアンテナを選んでください。

素子数が増せば利得が高くなり、指向性も鋭くなります。

■FM 専用外部アンテナをたてるとき

FM 雑音の中で、悩みの多いものにイグニッションノイズ（自動車のエンジンよりでる雑音）があります。この雑音をさけるために、アンテナを道路からできるだけ離れたところにたててください。

送信アンテナからごく近いところでFM 外部アンテナをたてますと、電波が強すぎて音が歪むことがあります。これは故障ではありません。お近くのケンウッド営業所にご相談ください。

■T型 FM 室内アンテナの接続

T型アンテナはFM 専用外部アンテナを設置するまでの間、一時的にご利用ください。

■同軸ケーブルの接続

<p>① 同軸ケーブルを図のように加工します。</p> <p>5C-2V の場合は外装をむいて芯線を出す。 3C-2V の場合は外装をむいて網線を外装に折りかえます。</p>	<p>② 75 Ω / 300 Ω アンテナアダプターカバーを開けます。</p> <p>矢印の方向に両側から指で軽く押してロックをはずし、手前に引きます。</p>	<p>③ アンテナアダプター本体からリングをはずし、カバーにある柱にとりつけておきます。</p>
<p>④ 止め金具をはずし、同軸ケーブルの芯線をみぞに差し込みます。</p>	<p>⑤ 止め金具とねじをドライバーでしめます。</p> <p>はずしたカバーを閉じます。</p>	<p>⑥ FM アンテナ端子に差し込みます。</p>

■300 Ω フィーダー線の接続

<p>①</p> <p>付属 FM 室内アンテナ</p> <p>①ねじをゆるめる。</p> <p>③ねじをしめる。</p> <p>②フィーダー線を差し込みます。 アンテナアダプター</p>	<p>②</p> <p>本機背面</p> <p>FM アンテナ端子にしっかりと差し込みます。</p>	<p>③</p> <p>①受信状態の良い方向を探します。</p> <p>②両端を固定します。</p> <p>受信状態にする。</p> <p>本機</p>
--	--	--

各部の名称

レック キャリブレーション
REC CAL キー

プログラム
PROGRAM キー

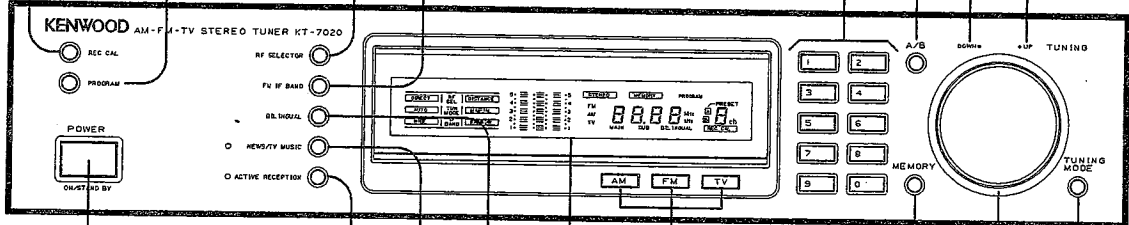
RF SELECTOR
RF SELEクター キー

FM IF BAND キー

プリセットステーションキー(1~0)

A/B 切換キー

チューニング方向
インジケター



POWER スイッチ

アクティブ レセプション
ACTIVE RECEPTION キー
(インジケター付)

ニュース ミュージック
NEWS-TV MUSIC キー
(インジケター付)

バイリンガル
BILINGUAL キー

AM/FM/TV
バンド切換キー

メモリー
MEMORY キー

チューニング モード
TUNING MODE

チューニング
TUNING つまみ

切換キー

ディスプレイ部

RF SEL インジケター

ステレオ
STEREO インジケター

メモリー
MEMORY

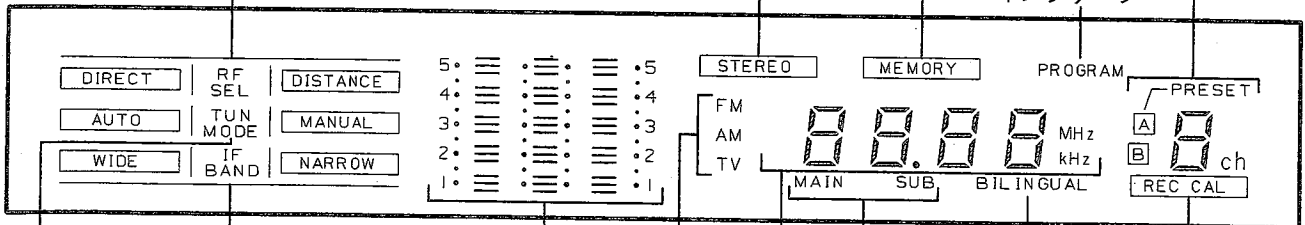
インジケター

プリセット
PRESET

インジケター

プログラム
PROGRAM

インジケター



バンド
IF BAND

チューニングモード
TUN MODE
インジケター

チューニングシグナル
インジケター

周波数表示

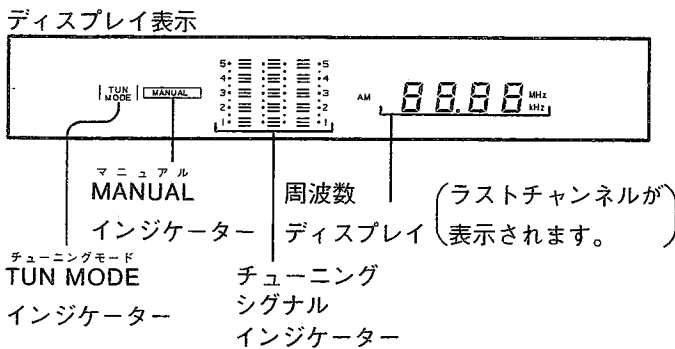
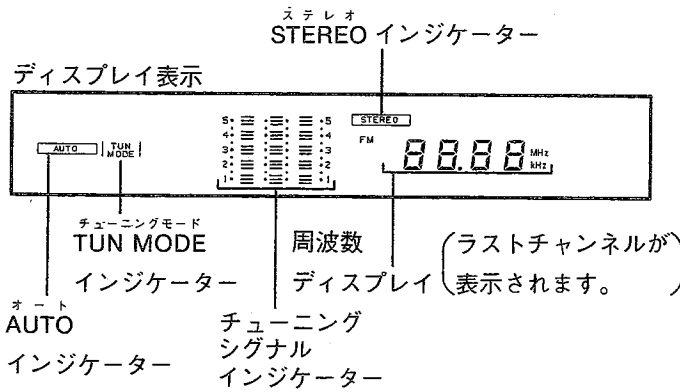
FM/AM/TV
インジケター

メイン サブ
MAIN/SUB
インジケター

バイリンガル
BILINGUAL
インジケター

レック キャリブレーション
REC CAL
インジケター

操作のしかた



チューニングシグナルインジケータについて

チューニングつまみを回して放送を受信するとき、同調点に近づくに従って左右どちらかが赤色で点灯、同時にシグナルの強さに従って点灯するポイント数が増えます。さらに同調点に近づきますと、中央の白いポイントが増えます。同調時は白いポイントが最も大きくなった点となります。離調するときは、逆の推移をたどっていきます。

AM, TV 放送受信時は、放送局に同調すると、中央の白のインジケータがシグナルの強さに従って点灯します。

ご注意：

電界が不十分なときは、左側と右側のステップが4ポイント以下の表示になったり左右非対称に表示されることがあります。

※ラストチャンネル

メモリーバックアップがされていれば、電源を切る直前に受信していた放送局の周波数が記憶されます。この周波数をラストチャンネル周波数と呼び、再度電源を入れると、この周波数を受信します。

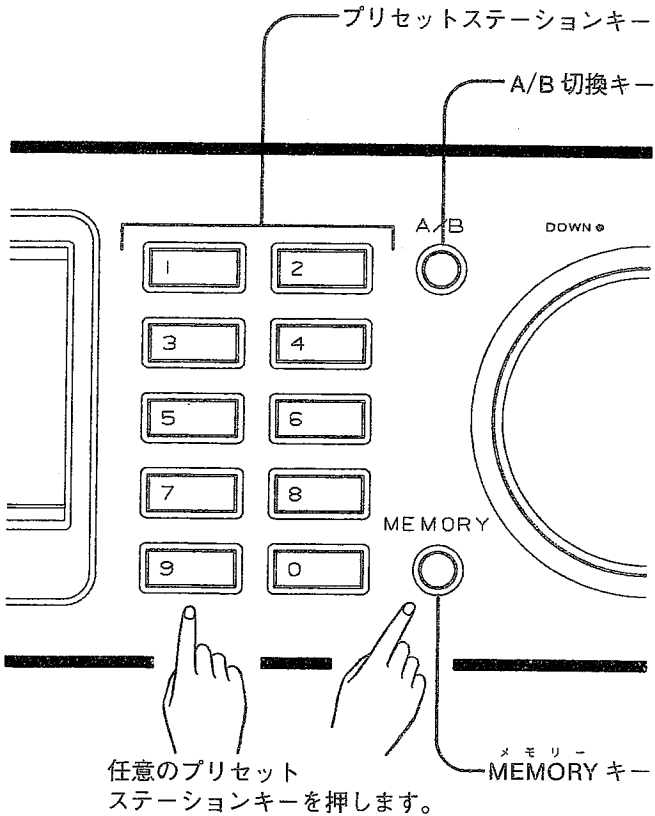
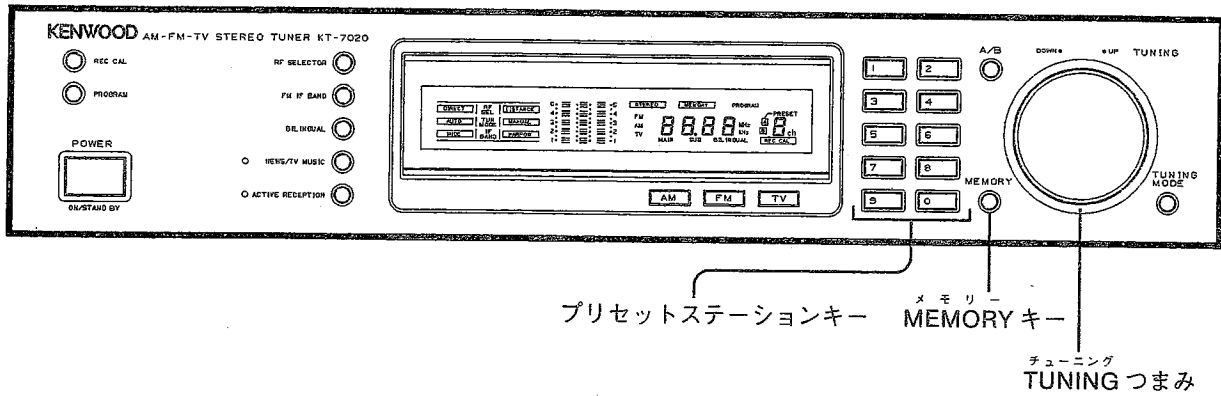
■オート選局できくには

1. アンプの入力切換スイッチが、TUNER になっていることを確かめてください。
2. POWER を押します。
3. バンド切換キーで、ご希望のバンドを選びます。
 - AM 放送をきくときは、AM を押します。周波数ディスプレイが AM 表示になり、ラストチャンネルが表示されます。
 - FM 放送をきくときは、FM を押します。周波数ディスプレイが FM 表示になり、ラストチャンネルが表示されます。
 - TV 放送をきくときは、TV を押します。周波数ディスプレイが TV チャンネル表示 (1ch~62ch) になり、ラストチャンネルが表示されます。
4. TUNING MODE 切換キーを押して、AUTO インジケータを点灯させます。
5. TUNING つまみを軽く回して、選局します。
 - 周波数の高い局を選ぶときは、TUNING つまみを軽く右に回します。
 - 低い局のときは、左にまわします。
 - 周波数を自動的に走査して、放送局のある周波数で停止します。
6. 音量と音質調整は、アンプで行なってください。

■マニュアル選局できくには

(FM, TV ステレオ時は、強制的にモノラル状態になります) オート選局では選局できない電波の弱い局を受信するときは、マニュアル選局をしてください。

1. “オート選局できくには”の1~3項を行ないます。
2. TUNING MODE 切換キーを押して、MANUAL インジケータを点灯させます。
3. TUNING つまみを回して、ご希望の放送局を受信します。
 - このつまみを回し続けると、周波数が連続的に変わります。
4. 音量と音質調整は、アンプで行なってください。



■放送局の周波数をプリセットするには

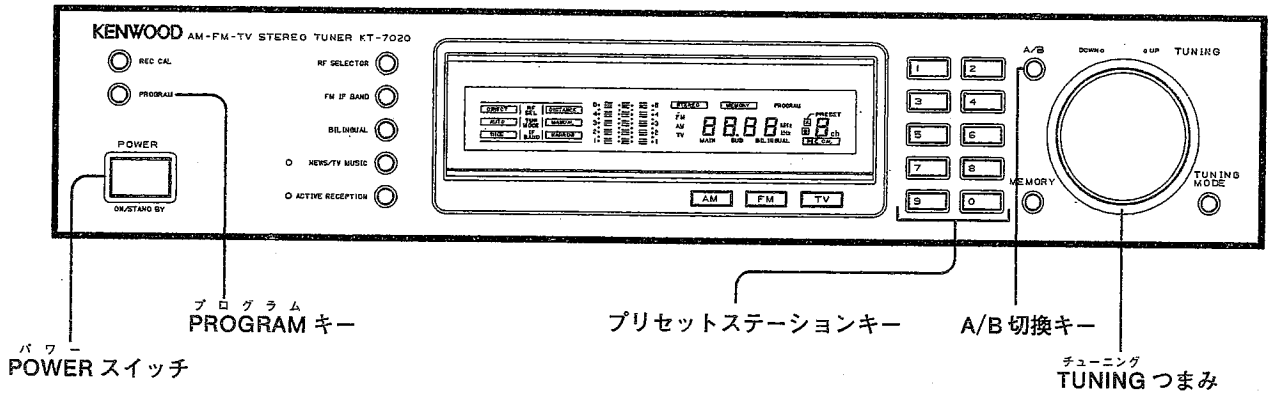
1. オート選局または、マニュアル選局で放送局を受信します。
2. A/B 切換キーで、プリセットのA側かB側を選びます。
 - A側10局, B側10局, 合計20局入ります。
3. MEMORY キーを押します。(約1秒間押し続けてください。)
 - MEMORY インジケーターが約5秒間点灯します。
4. MEMORY インジケーターが点灯している間に、任意のプリセットステーションキーを押します。MEMORY インジケーターが消え、プリセットインジケーターが点灯し、放送局の周波数とそのキーに記憶されます。

■プリセットした放送局を受信するには

1. A/B 切換キーで、A側か、B側かを選びます。
2. ご希望の放送局の周波数が、プリセットされているプリセットステーションキーを押します。
3. 音量と音質調整はアンプで行なってください。

一度記憶したプリセットメモリーの内容は、電源コードを抜いても3日間はメモリーバックアップをしています。

● A/B 切換キーでA側かB側にします。



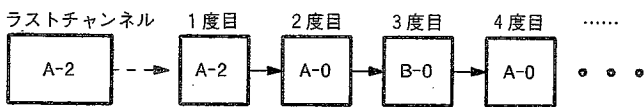
■プログラム受信をするには

プログラムタイマーと本機を接続してラストチャンネルと A/CH-0, B/CH-0 の2局を受信することができます。これは、3局を“るす録”するとき大変便利です。

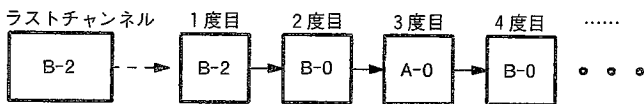
本機のプログラム機能は次のようになっています。

プログラム受信の組み合わせ例

例1：ラストチャンネルがA-2の場合

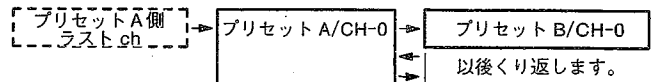


例2：ラストチャンネルがB-2の場合

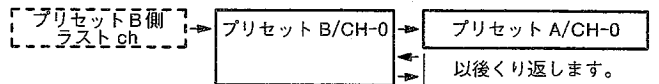


※A-0または、B-0に2番目、3番目に録音したい局をプリセットしてください。もし、同じ局を2番目、3番目に録音するときは、A-0または、B-0にそれぞれプリセットしてください。

プリセットA側をラストチャンネルとした場合、タイマーの電源ON-OFFで次のようになります。

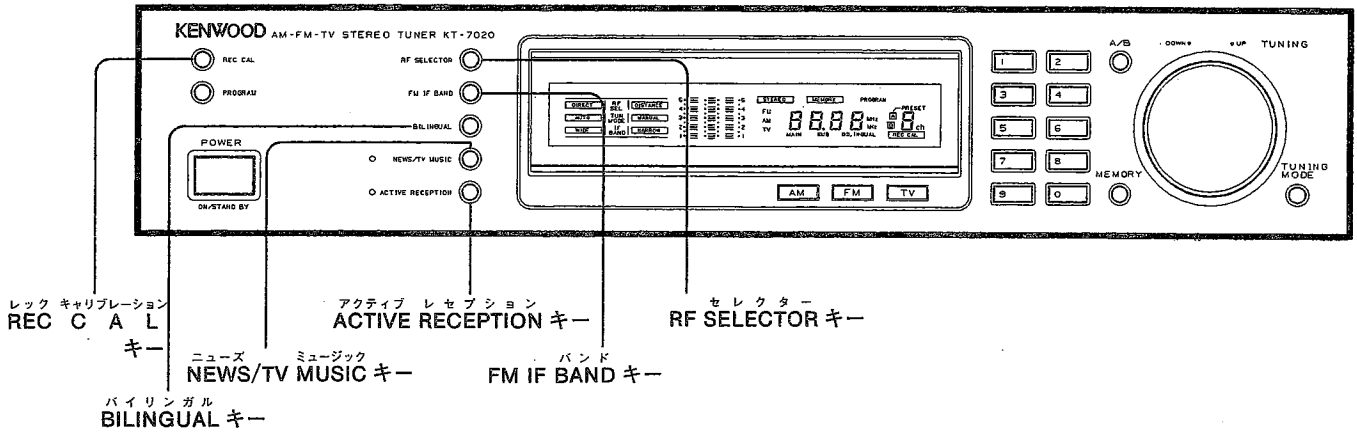


プリセットB側をラストチャンネルとした場合、電源ON-OFFで次のようになります。



1. 本機に電源が通電するように、プログラムタイマーを操作します。
2. 本機の電源をONにし受信状態にします。
3. PROGRAM キーをOFF状態にします。(プログラムインジケータが消灯していることを確認してください。)
4. 最初に受信したい局がプリセットA側の場合、2番目に受信したい局をプリセットA側のCH-0にプリセットしてください。3番目に受信したい局をプリセットB側のCH-0にプリセットしてください。
5. 最初に受信したい局がプリセットB側の場合、2番目に受信したい局をプリセットB側のCH-0にプリセットしてください。3番目に受信したい局をプリセットA側のCH-0にプリセットしてください。
6. 最初に受信したい局を選局し、受信してください。このとき、プリセットA側、B側かに注意してください。
7. プログラムスイッチをON状態にしてください。(プログラムインジケータが点灯)
8. 本機へ3度通電するようにプログラムタイマーをセットしてください。
9. 最初に本機へ通電されたときに、⑥で受信した局(ラストチャンネル)が受信されます。2度目、3度目に通電されたときは、④⑤でプリセットされた局が受信されます。4度目以降は、CH-0のA/B側をくりかえし受信します。

便利な機能



■FM 放送受信時の便利な機能

アクティブ レセプション ACTIVE RECEPTION キー

押すとスイッチが入り、左のインジケータが点灯します。RF SELECTOR と FM IF BAND を自動的に切り換え最適の受信状態にします。RF SEL インジケータ、FM IF BAND インジケータが受信状態に合わせ自動点灯します。

RF SELECTOR キー

RF を DIRECT と DISTANCE に切り換えることによって RF 相互変調や混変調ひずみなどを少なくすることができます。

DIRECT 点灯：電波が強い地域において、RF 相互変調、混変調ひずみなどが少ない状態で受信することができます。

DISTANCE 点灯：遠距離の放送局を受信する場合、SN 比の良い状態で受信できます。

FM IF BAND キー

中間周波数の信号の通過帯域を WIDE (広帯域) と NARROW (狭帯域) に切り換えることができます。

WIDE：通常は、この位置にしておきます。ひずみの少ない良質の音を受信することができます。

NARROW：隣接局の妨害がはげしく、放送がききとりにくいときの位置です。選択度特性がよくなり、妨害の少ない受信状態となります。

ご注意：

1. TV 放送受信時は、WIDE 表示になり、NARROW への切り換えができません。
2. AM 放送受信時は、インジケータが消灯し、切り換えはできません。

レック キャリブレーション REC C A L キー

FM 放送を良質な音で録音するには、適切な録音レベルの設定が必要です。FM 放送は、常に出力レベルが変動するため録音レベルの設定が困難です。本機では、REC C A L キーを ON にしますと、約400Hzの信号 (FM50%変調に相当するレベル) が連続的に OUTPUT 端子に出てきます。この出力レベルで、テープデッキの、VU メーターを -6dB、または 50% に合わせておけば適正な音量レベルの設定ができます。

■TV 放送受信時の便利な機能

バイリンガル BILINGUAL キー

TV 放送の音声多重放送の主音声と副音声を切り換えると、きかします。

このキーは押すごとに



と切り換わります。

2ヶ国語放送のときは、主音声 (MAIN) で日本語、副音声 (SUB) で外国語をきくことができます。

MAIN SUB：L (左チャンネル) に MAIN, R (右チャンネル) に SUB の信号が出力されます。

MAIN：L, R とも MAIN 信号のみ出力されます。

SUB：L, R とも SUB 信号のみ出力されます。

ニュース ミュージック NEWS-TV MUSIC キー

TV 放送受信時のみ動作します。

TV MUSIC：通常はこの位置にします。(左のインジケータが点灯)

NEWS：(左のインジケータが消灯) 現場取材放送等で、周囲の雑音でアナウンスがききとりにくいとき等、この位置にしますと、ききやすくなります。

故障と思われる症状ですが.....

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

症 状	原 因	処 置
一般的なこと		
音が出ない。	1. アンテナを接続していない。 2. アンプと接続されていない。 3. 放送局を受信していない。	1. AM 用はループアンテナ FM 用は外部アンテナ またはT型アンテナ } を必ず接続する。 2. オーディオコードでアンプと接続する。 3. 放送局の周波数に合せる。
チューニングシグナルインジケータの点灯が不安定。	アンテナの接続が不確実。	断線、接触不良のチェック
スイッチを操作すると、一時音がとぎれる。	スイッチの切換えによるショックノイズ防止のため一時的にミュートングをかけている。	故障ではありません。

FM(TV)受信時に起こりやすいこと		
ザーッという連続音が放送とともに入る。	アンテナに入ってくる電波が弱く入力不足となっている。	FM(TV)アンテナの見直し、また放送局から遠距離にあるところではFM(TV)専用外部アンテナ(5~8素子)が必要です。
バリバリ、ガリガリという雑音が入る。	自動車などのイグニッションノイズ	アンテナを道路から離して設置し、接続コードは300Ωフィーダー線よりも75Ω同軸ケーブルを使用する。
ステレオ放送のはずなのにSTEREOインジケータがつかずモノラルになっている。	電波が弱い場合チューナー側で強制的にモノラルにしている。	FM(TV)専用外部アンテナを屋外に設置し、電波を十分キャッチする。

AM 受信時に起こりやすいこと		
ジーッという連続音が入る。特に夜間大きい。	電気器具(蛍光灯など)による雑音や空電という雑音がアンテナから入る。	屋外にAMリードアンテナを設置し、アースを取れば減少しますが、完全に取除くことはむずかしい。
放送に合わせたときだけブーンというハム(同調ハム)が入る。	1. 電源コードの差し込み方向で、でることがある。 2. 地区的にでることがある。	1. 電源コードの差し込みをかえてみる。 2. 交流電源では特定の局にハムがでるのはやむをえません。
チーッ、シーッという高い連続音が入り、大きくなる。	1. テレビから出る雑音。 2. AM放送局同志の干渉による9kHzのビート音	1. テレビを消してみる。(近所のテレビの影響を受けていることもある) 2. AM放送方式の欠点で取り除けません。

シンセサイザーチューナーで起こりやすいこと		
プリセットステーションキーを押しても受信しない。	放送局の周波数をメモリーしていない。	放送局の周波数を確認、確実にメモリーする。
プリセットステーションキーにメモリーしたのにメモリーが消えている。	電源コードの接続が無い場合バックアップが完全でない。	電源コードは必ず壁面コンセントまたは、非連動電源コンセントに接続する。

アフターサービスについて

1. 保証書—この商品の保証書は別途添付しております。必ず所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保存してください。
2. 保証期間—お買上げの日より1年間です。正常なご使用状態でこの期間内に万一故障を生じた場合には、保証書の記載内容によりお買上げの販売店またはケンウッドの営業所が無料修理いたします。
3. 保証期間経過後の修理についてはお買上げの販売店またはケンウッドの営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合にはお客様のご要望により有料修理いたします。
4. 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年間(カセットデッキは6年間)です。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
5. なおアフターサービスについて、ご不明な点はお買上げの販売店またはケンウッドの営業所にご遠慮なくご相談ください。

※ダンボール箱は是非保管し、アフターサービスや引越しの際大切な機器を保護するためにご利用ください。

定格

〔FM チューナー部〕

受信周波数範囲	76MHz~90MHz
アンテナインピーダンス	75Ω 不平衡
実用感度(モノラル)	10.8dBf(0.95μV, 75Ω)
高調波ひずみ率	モノ……………0.007%(1kHz, WIDE) ステレオ……………0.009%(1kHz, WIDE)
S/N 比:	モノ……………100dB(85dBf) ステレオ……………92dB(85dBf)
キャプチャーレシオ	1.0dB(WIDE), 2.5dB(NARROW)
実効選択度	60dB(±400Hz, WIDE) 75dB(±300Hz, NARROW)
ステレオセパレーション	65dB(1kHz, WIDE)
周波数特性	20Hz~15kHz, +0.5dB, -0.5dB
イメージ妨害比	90dB
IF 妨害比	120dB
スプリアス妨害比	120dB
AM 抑圧比	72dB
サブキャリア抑圧比	70dB
出力レベルおよび出力インピーダンス	600mV, 3.3kΩ (FM: 1kHz, 100%変調)

〔TV チューナー部〕

受信チャンネル	VHF ……………1~12CH UHF ……………13~62CH
アンテナインピーダンス	VHF ……………75Ω 不平衡 UHF ……………300Ω 平衡
感度	VHF ……………3.0μV UHF ……………20μV

SN 比:	68dB (VHF)
高調波ひずみ率	0.04%
チャンネルセパレーション	45dB
出力レベルおよび出力インピーダンス	450mV, 3.3kΩ (FM: 1kHz, 100%変調)

〔AM チューナー部〕

受信周波数範囲	531~1602kHz
実用感度	250μV/m
SN 比:	55dB
高調波ひずみ率	0.25%
イメージ妨害比(ループ)	40dB
IF 妨害比	55dB
実効選択度	30dB(±400kHz)
出力レベルおよび出力インピーダンス	180mV, 3.3kΩ (AM: 400Hz, 30%変調)

〔電源部・その他〕

電源電圧・電源周波数	AC100V, 50Hz/60Hz
定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示)	19W
寸法	幅440mm 高さ98mm 奥行318mm
重量	正味4.9kg

これらの定格及びデザインは、開発に伴い予告なく変更になることがあります。

アフターサービスのお問い合わせは、
購入店または最寄りの当社サービスセンター
営業所をご利用ください。
商品に関するその他のお問い合わせは、
お客様相談室をご利用ください。
電話(03)486-5515

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

東京都渋谷区渋谷2-17-5(シオノギ渋谷ビル)〒150
電話(03)486-5511